

令和7年度 盛岡農業高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

～「チーム盛農」で取り組む働き方改革及び持続可能なウェルビーイングの実現～

盛岡農業高等学校では、「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【定量的現状】

- ◆ 「岩手県教職員働き方改革プラン(2024～2026)」目標達成状況
時間外在校等時間が月80時間以上の者
・R6年度:8名
- ◆ 年次休暇の取得状況について(年間一人当たりの平均取得日数)
・R4年度:14.3日、R5年度:13.5日 R6年度:13.4日
- ◆ 指導管理票交付者 R4年度:31名、R5年度:33名、R6年度:40名

【定性的現状】

- 教職員の意識
・時間外勤務削減への意識は日ごろから見られる。
- ・時間外勤務している教職員が固定している。
- 管理職のマネジメント
・スクラップ×2 アンドビルドの視点を持って業務見直し等の対応を行っている。

2 目標・目指す姿

県の働き方改革プランの目標を前提に、以下の目標を設定します。

【学校独自の目標】

- 教職員一人当たりの平均時間外在校等時間を30時間以下とすることを目指します。
- 年次休暇の平均取得日数を15日以上にします。
- 農(ノ一)残業デー(毎週月曜日)を確実に実施します。

【目指す姿】

- ・ こどもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。
- ・ 教職員一人一人が、活力に満ちて業務に取り組んでいる。
- ・ 教職員が、家庭のための時間や自由時間を確保できている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

(1)	教職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none">・ 管理職による教職員面談を実施し、教職員の健康状態の観察・把握を行います。・ 部活動休養日を設定し、教職員の健康保持を推進し、教職員の休養を推奨します。
(2)	学校における業務改善の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 日常の業務について、教育において真に必要な観点から業務の見直しを進めます。・ 各種文書の簡素化、ペーパーレス化により業務の効率化を図ります。
(3)	業務の明確化・適正化の推進	<ul style="list-style-type: none">・ 働き方改革の取組について、保護者や地域の方に理解いただけるよう推進します。・ 教職員参加の校外行事等について、学校の実情を踏まえて精選を図ります。
令和7年度 重点取組事項		<ul style="list-style-type: none">・ 夏季休業中の学校閉庁日と週休日、祝日を合わせ9日間連続の休日を設定し、教職員のゆとりを生み出します。・ 校内で実施される諸会議・行事(PTA・自動車学校許可式等)を勤務時間内に設定します。

4 アクションプランの周知方法

- ・ プランを学校のHPに掲載し、会議等を通じて教職員にも周知します。
- ・ PTA総会や学校運営協議会等の様々な会議を通じて、地域・保護者に対してプランの内容の説明を行います。